

砂取小学校紹介





水前寺公園 水前寺保育園



水前寺食堂



熊本県庁駐輪場



熊本県庁

ルフィ像

ぼっぼ保育園

ローソン 熊本県庁通り店
コンビニエンスストア

(株)熊本銀行
本店営業部



private salon seed
美容院

メガネのヨネザワ 本店
メガネ店

味千拉麺 本店
ラーメン・お手頃

水前寺高等学園

熊本市立砂取小学校

熊本県立熊本
商業高等学校

県庁前グリーンホテル

グッドライフ
カンパニー 熊本支社

ひまわり薬局

くわみず病院



ライフ

神水

きよめ子どもの家

商業高校前

供ホーム

神水幼稚園

フクダ電子西部
南販売(株)

未来高等学校
熊本学習センター

ローソン 熊本
神水一丁目店
コンビニエンスストア



砂取地域
コミュニティセンター

ヘア・フルール

(株)熊臨

Google

本校の沿革史

生年	西暦	主な出来事
大正6年	1917	熊本県第二師範学校附属小学校開校
昭和8年	1933	熊本市砂取尋常小学校となる
昭和14年	1939	校歌制定
昭和16年	1941	熊本市立砂取国民学校と改称
昭和18年	1943	熊本市立砂取青年学校併置
昭和21年	1946	熊本市立砂取小学校と改称
昭和32年	1957	児童数2019人（最高児童数記録）
昭和41年	1966	全国給食大会文部大臣賞受賞
昭和52年	1977	保健体育優良校全国表彰
昭和59年	1984	全国健康優良校受賞
平成8年	1996	学校保健功労文部大臣表彰
平成14年	2002	全国学校体育研究最優秀校受賞
平成16年	2004	全国優良少年消防クラブ表彰
平成19年	2007	新体育館落成式、新給食室調理開始
平成28年	2016	熊本地震により避難所設置、創立百周年記念式典
平成30年	2018	教室冷暖房工事終了
令和元年	2019	通常教室内線電話完備

本校の沿革（研究に関して）

健康教育		道徳教育		その他（社会科、学活他）	
年・月	研究内容	年・月	研究内容	年・月	研究内容
S51.7	体育研究発表会（県）	S34.11	道徳教育研究発表会（市）	S32.2	社会科研究発表会
H1.11	健康教育研究発表会（市）	S38.11	道徳教育研究発表会（市）	S60.11	全国小学校社会科学研究大会（会場校）
H6.11	健康教育研究発表会 （文部科学省、市）	S39.11	道徳教育研究発表会（市）	H28.10	図書館研究大会 （県）
H14.7	全国学校体育研究【最優秀校】	S42.6	道徳教育研究発表会（市）	R4	全国小学校社会科学研究大会（会場校）
H16.10	健康教育研究発表会	H24.11	教育課程（道徳教育）研究発表会（市）		
H19.11	健康教育研究発表会	H30.11	道徳教育研究発表会（市）		
		H31.11	道徳教育モデル校発表会（市）		



砂取小学校の特色と地域

- ☆健康教育（昭和51年～）
- ☆道徳教育（研究指定校、モデル校）
- ☆読書（約42,000冊／年）
- ☆令和4年度：社会科全国大会会場校
→研究を中心に

- ★自然、文化環境の豊かさ
- ★地域の教育力、協力



学校教育目標



心豊かで、主体的に学び、健やかに生きる
「笑顔あふれる砂取っ子」を育成する



こんな子どもに

- 夢や希望をもち、自発的な子ども
- 思いやりのある子ども
- 自治力がある子ども
- 母校に誇りをもち、健康な子ども
- 心身ともに健康で**生命を大切に**
する子ども



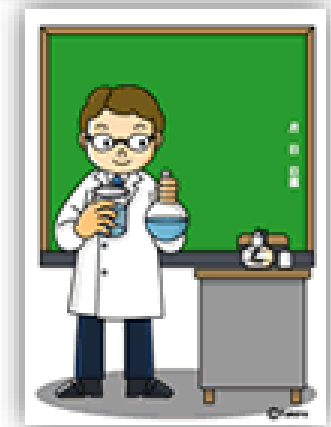
こんな学校に

- 子どもが主役でまとまる学校
- いじめのない学校
- 礼儀正しい学校
- 信頼され喜びを感じ合う学校
- 安心して通える**生命を大切にする**
学校

愛情と信頼関係に満ちた教育活動が展開されるように校長を中心とした指導体制を確立し、全職員が「チーム砂取」して子どもの教育にあたっています。

こんな教師に

- 自立、協働して指導力を高める教師
- 人間性と人権感覚をもつ教師
- 品位と礼節を備えた教師



朝の読書について



朝の読書 【期待される効果】

- ① 静かな環境の中で読書ができ、読書に集中できる。
- ② 自分と対話することができ、落ち着く。
- ③ 遅刻が減り、ホームルームが静かになり、集中できる。
- ④ 授業にスムーズに入れ、授業に対する集中力が高まる。
- ⑤ それぞれの子どもが自分に必要なことを学ぶことができる。
- ⑥ 積み重ねが力になる。
- ⑦ 読書が嫌いな児童が本を読むようになり、読書が好きになる。
- ⑧ 日常生活の中で読書時間が増え、図書館や書店に行き、本を探す機会が増える。
- ⑨ 言語能力(読み、理解し、考え、想像し、表現する力)が身に付く。
- ⑩ 子ども間に共感性、連帯感が生まれ 人間関係が広がる。

朝の読書 【4原則】

1 「みんなでやる」

(子どもと教師全員が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さが基本)

2 「毎日やる」

(1日10分という短い時間でも、毎日行うことで子どもの読む力を育む)

3 「好きな本でよい」

(読む本を子ども自身に選ばせることは自分発見につながり主体性を育む。但し、マンガと雑誌は除く)

4 「①1人1冊、②静かに、ただ読むだけ」

(①1人1冊 ②静かに(しゃべらず、黙々と)ただ読むだけ。楽しく充実した思いを大切にする)

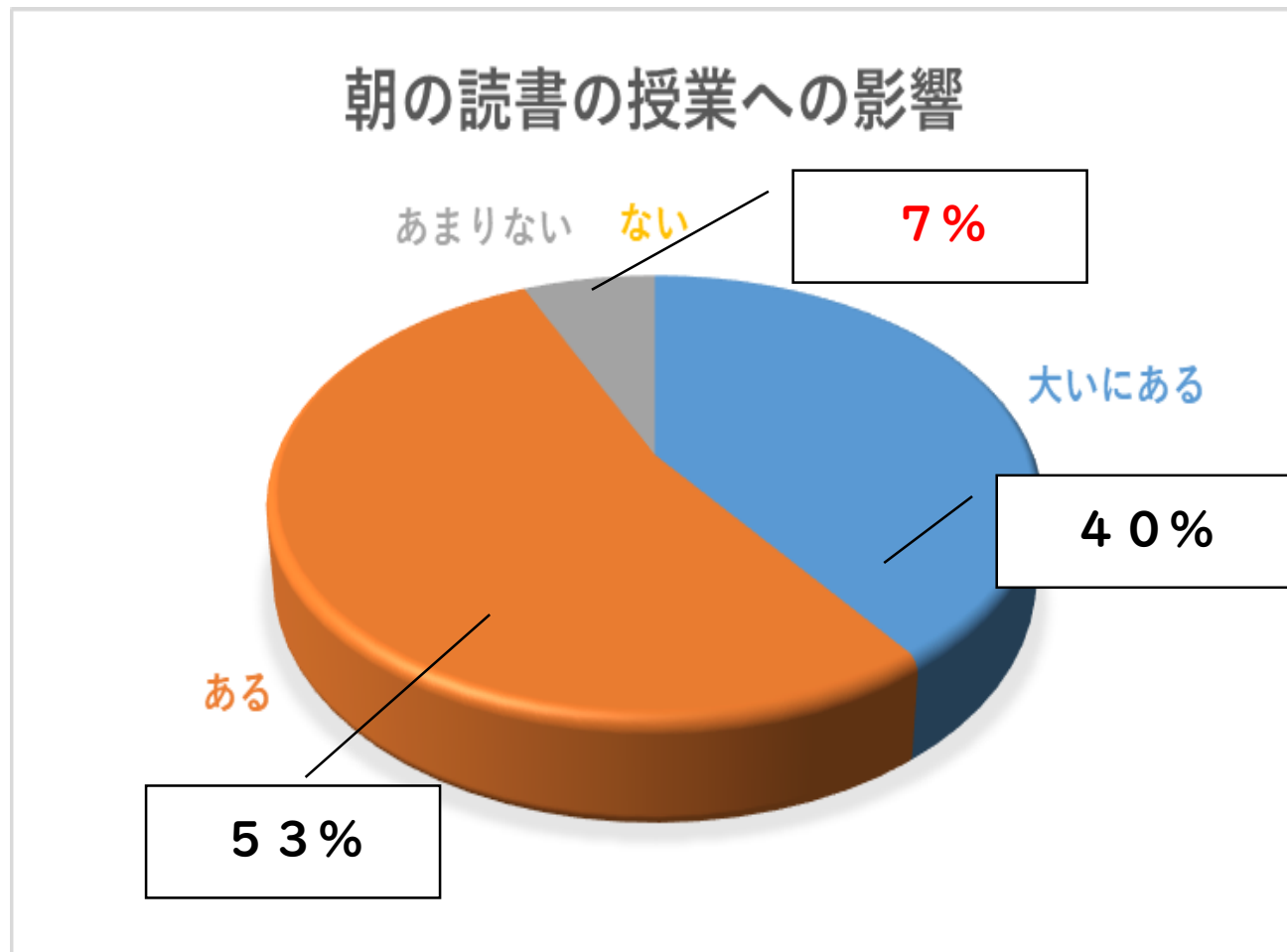
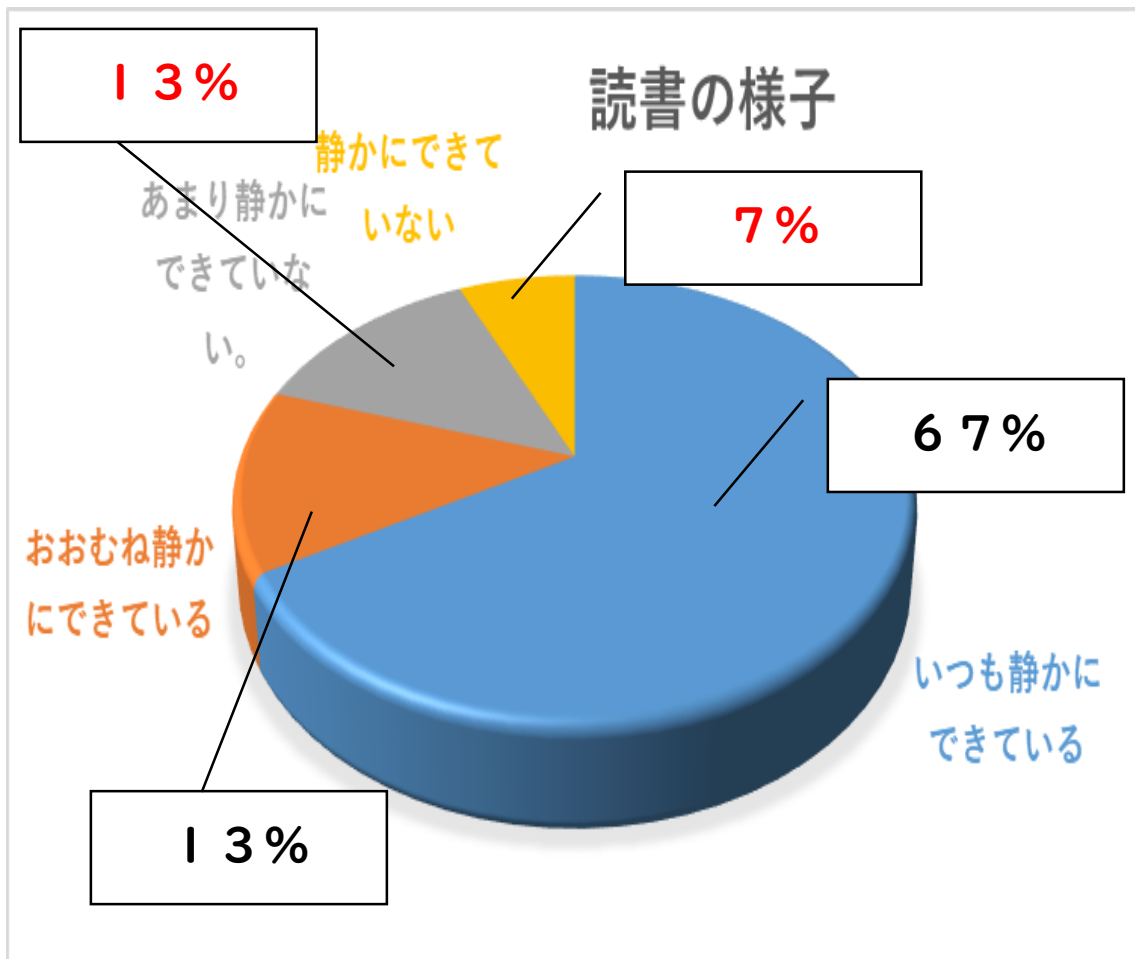


朝の読書の様子



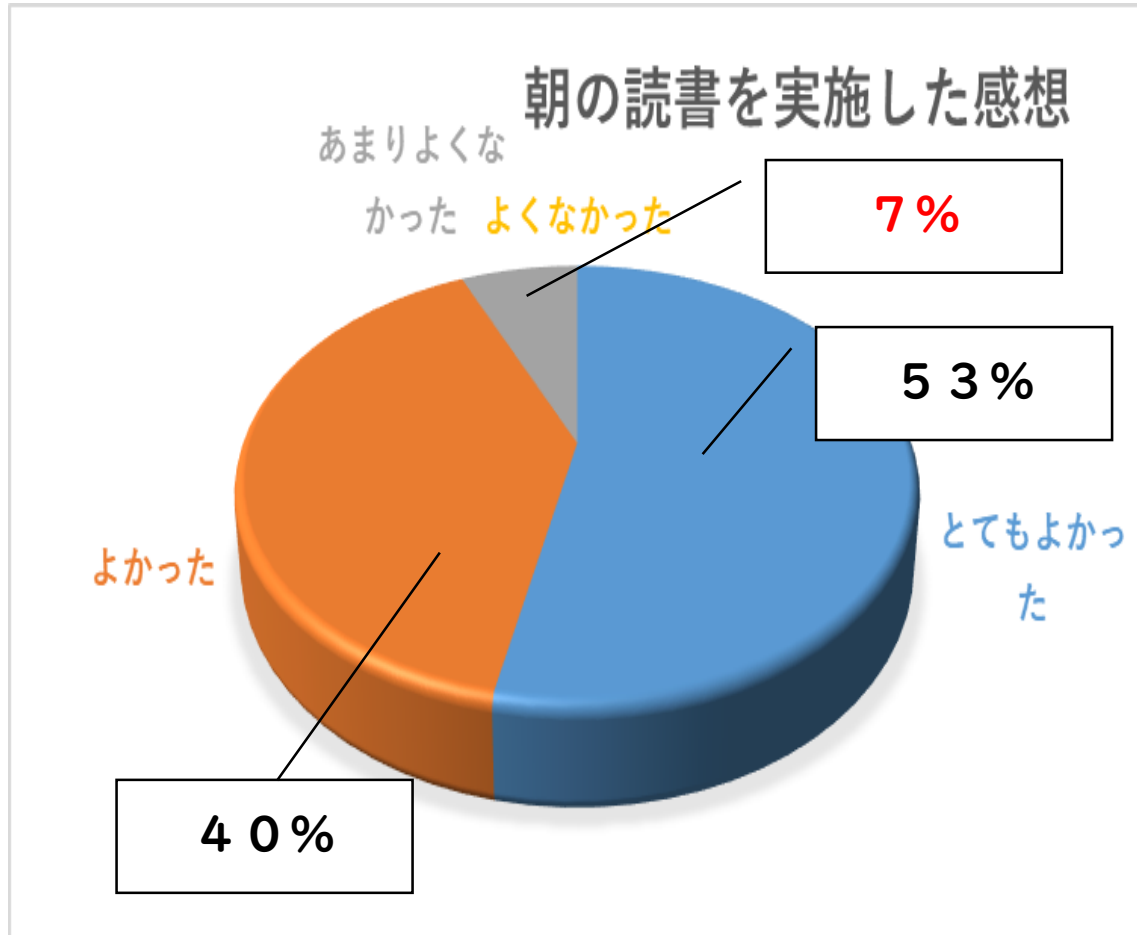
アンケート結果（9月）

教職員



アンケート結果（9月）

教職員



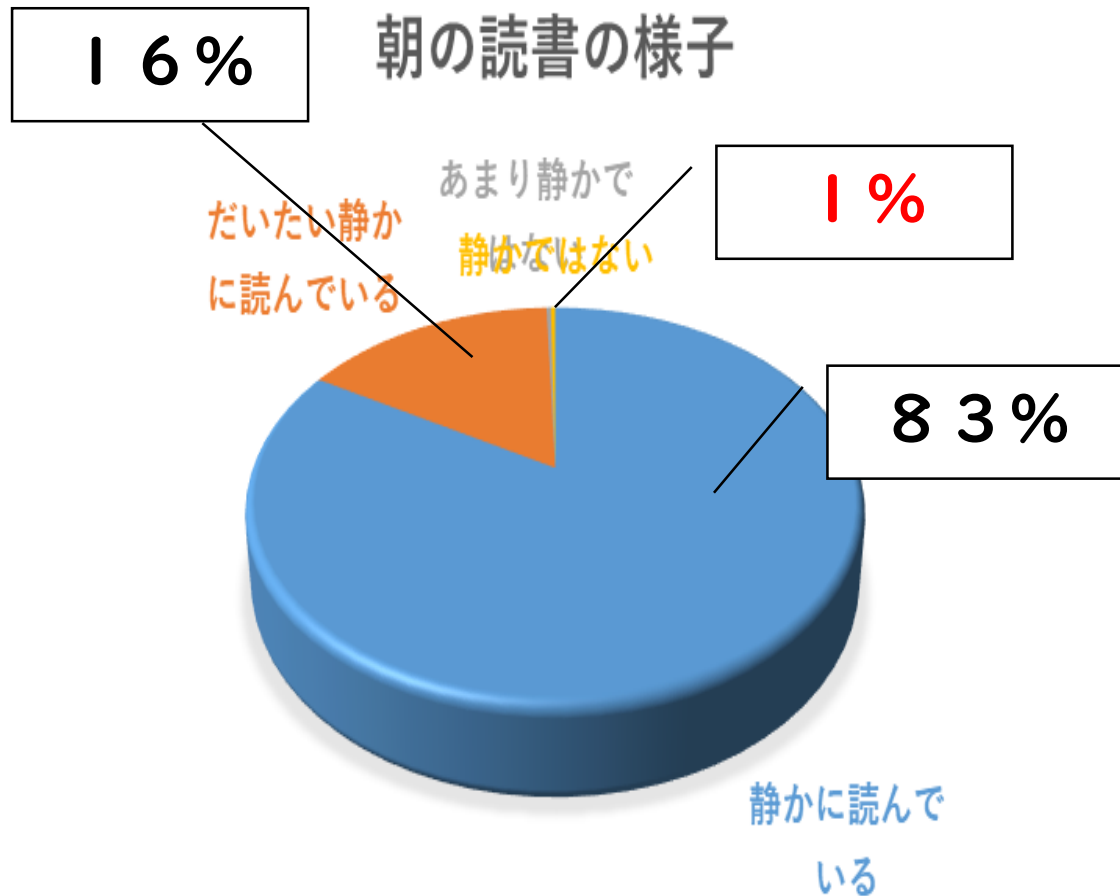
（理由）

- 子どもたちが読書をするのがとても好きなので。
- 学習等に効果があるという経験があるので。
- 集中して読んでいる子どもが多い。
- 10分は短い 他

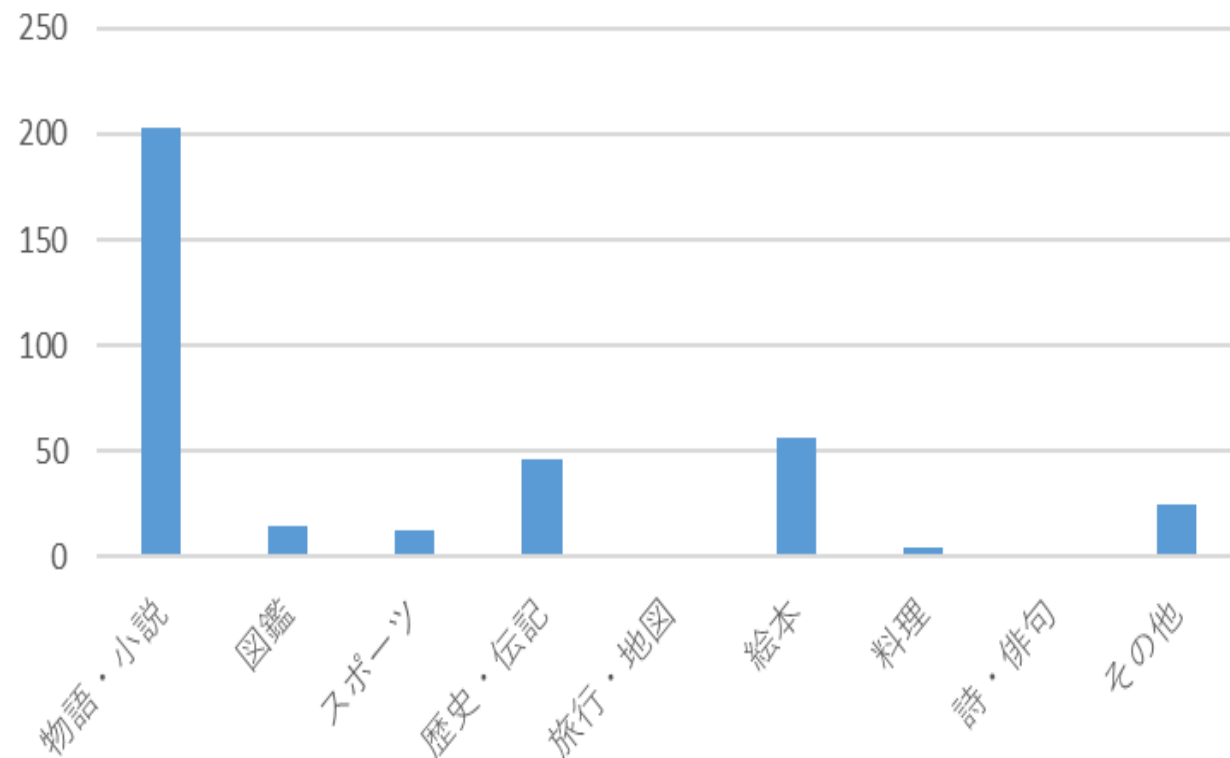
アンケート結果（9月）

児童

朝の読書の様子



朝の読書に読んでいる本の種類



アンケート結果（9月）

児童

朝の読書は楽しいか？

あまり楽しく
ない 楽しくない

2%

7%

55%

楽しい

とても楽しい

35%

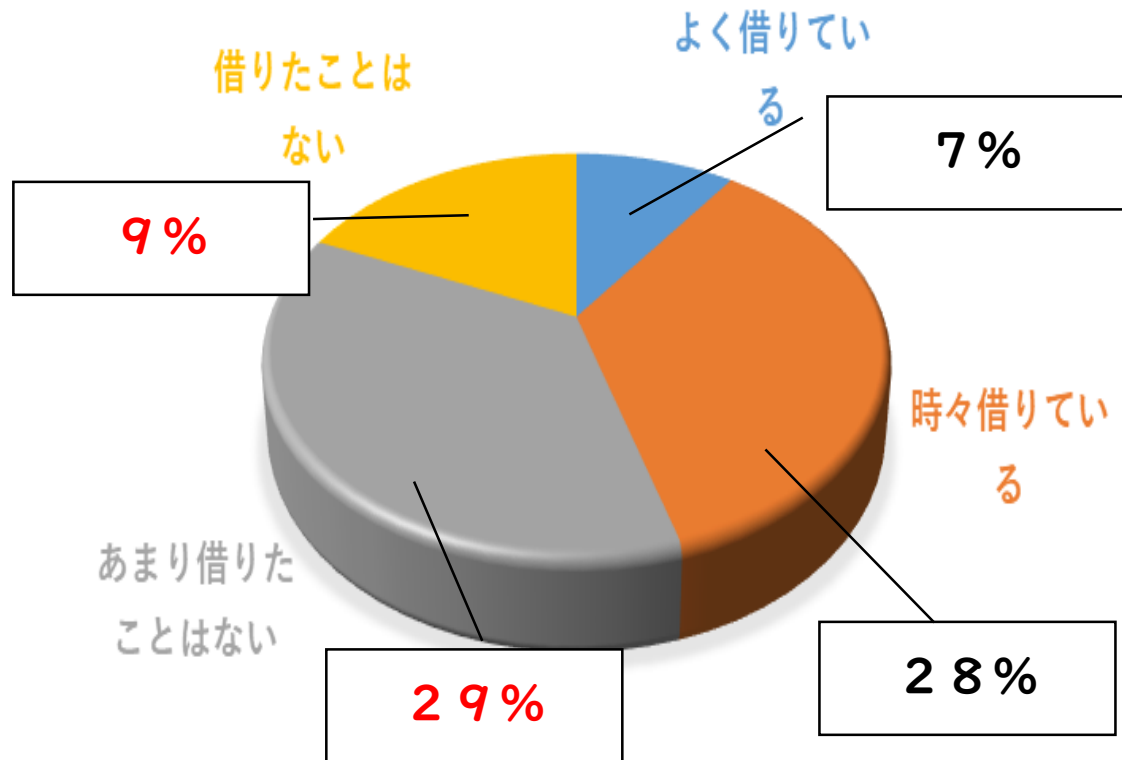
(理由)

- 静かでいい。集中できる。
- リラックスできる。落ち着く。気分がよくなる。
- ワクワク、予想外の展開
- 家でなかなか読めないのが嬉しい
- 本を読むのが苦手
- 時間が短いから。他

アンケート結果（9月）

児童

学校図書室以外で本を借りているのか



【読書でつけたい力】

- ◎物語や小説を読む力
- ◎登場人物の気持ちを考えることを通して、人の気持ちがわかるようになる力
- ◎漢字などがわかる力
- ◎じっくりと考え、我慢する力
他

おわりに

①特色を明確にした学校づくり

例) 読書、SDGs、生命を大切にする学校

②見える化と改善

構想図、結果（数値化）

⇒取組を通して職員、児童、保護者、地域に価値づけし、よりよい学校づくりへ